

第1学年1組 道徳科学習指導案

1 主題名 友達を思う心 内容項目 [B 友情、信頼]

2 ねらい 主人公の「みそさざい」に自我関与し、友達を思い行動する姿について考え、話し合うことを通して、友達の気持ちを考え、よりよい関係を築いていこうとする心情を育てる。

教材名 「二わのことり」(出典:「新編 あたらしいどうとく1年」東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、「B 主として人との関わりに関すること(9)友達と仲良くし、助け合うこと」をねらいとしている。これは、第3学年及び第4学年の「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」につながっていく。

人は、助け合い、支え合って生活を送っており、1人では生きてはいけない。自分だけが良い思いをしているばかりでは、友達関係は続かない。よりよい友達関係を築いていくためには、相手の気持ちになって助け合い、励まし合って、信頼や友情を育てることが大切である。

指導に当たっては、友達と一緒に、仲良く活動するよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるようにし、友達と仲良く続ける心情を育てることが大切となる。

(2) これまでの学習状況および児童の実態について

本学級の児童は、優しく素直で、困っている子に声をかける児童が多い。初めての学習や当番活動もみんなで「大丈夫、手伝うよ。」と声をかけ合いながら助け合っている姿が見られる。運動会では、玉入れで一位をとるために、みんなで練習を重ね、失敗しても「大丈夫だよ」と声をかけ合い、助け合いながらみんなで乗り越える達成感を味わえた。友達同士で互いの良い所を見つけ合い、みんなで活動するよさを感じながら少しずつ友達の輪ができてきた。

その一方で、休み時間に楽しいことに夢中になってしまうと、遊んでいたのに仲の良い子を一人にしてしまう時間があったり、相手の気持ちを考えずに約束を守らなかったりする姿も見られる。

そのため、その都度個別指導や全体指導を通して、相手の気持ちに寄り添って行動することのよさを指導している。そこで、本時の授業を通して、友達とより良い人間関係を築くために大切なことについて考えさせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、みそさざいの心の葛藤とその行動を中心に展開している。主人公の「みそさざい」は、同じ日にやまがらの誕生日会、うぐいすからは音楽会の練習に招待され、みんなと一緒にうぐいすの家に行って練習するが、1人でのやまがらが気になり家に行こうか葛藤する話である。

そこで、今回の授業では、主人公の「みそさざい」の行動と心情を通して、友達と仲良くし続けるためには何が大切かを考えさせ、よりよい友達関係を築いていこうとする心情が育まれるよう指導する。

① 1人でのやまがらを気にする気持ちとみんなと一緒にうぐいすの家へ練習に来たから抜け出せない「みそさざい」に共感し、友達を思い、よりよい関係を続けていくにはどうしたらいいのかについて考え、互いの意見を認め合えるようにする。

② 涙を浮かべて喜ぶやまがらを見た時の「みそさざい」に共感し、清々しさや嬉しさを感じ、友達の気持ちを思う大切さを考えられるようにする。

4 学習指導過程

	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入 (5)	1 自分の生活を振り返る。 ○友達と仲良くできていますか。それはどんなときですか。	<div>できている</div> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょに遊んでいた。 ・友達と楽しくお話した。 <div>できていない</div> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょに遊んでいて怒らせてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを事前に行い、ICTを利用して結果を見せる。 ・アンケートの結果から本時の学習の意欲を高め、ねらいとする道徳的価値についての問題意識をもてるようにする。
	課題 友達とずっと仲良くいるためにはどんな気持ちが大切でしょう。		
展開 (35)	2 教材「二わのことり」を聞き、話し合う。 ① 迷っているみそさざいはどうしたと思いますか。	<div>行く</div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で寂しいと思うから。 ・やまがらさんずっと待つと思うから。 ・行かなかったらやまがらさんと仲良しでられない。 <div>中間</div> <ul style="list-style-type: none"> ・皆が行くというなら行ってあげたい。 ・音楽会の練習を抜きたい気持ちがあるけれど途中で抜けるの不安。 <div>行かない</div> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽会の練習にきてしまっているから抜けられない。 ・みんなに怒られそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読を聞く時の観点を示す。(みそさざいに自我関与して考えられるようにする。) ・家の様子をおさえる。 <div>やまがらの家</div> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日。 ・とおい、さびしい。 <div>うぐいすの家</div> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽会の練習。 ・あかるく、きれい。 ・みんなと一緒にうぐいすの家に行った「みそさざい」に共感し、やまがらの家に行かず、みんなと来てしまった心の弱さや迷いについて考えるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童に問いかけた際、行く、行かない、中間の考えがでてきたら取り入れる。 ・みそさざいになって、葛藤する気持ちを考え、ワークシートに記入する。 ・3人組で意見を言い合う。 ・1人でいるやまがらを気にする気持ちとみんなと一緒にうぐいすの家へ練習に来たから抜け出せない「みそさざい」に共感し、友達を思い、よりよい関係を続けていくにはどうしたらいいのかについて考え、互いの意見を認め合えるようにする。 <p>☆友達と仲良くし続けるにはどうしたらいいか、多面的・多角的に考え、話し合っている。(発言)</p>

	<p>① 補 みそさざいはどんな気持ちでやまがらの家にむかったでしょうか。</p> <p>② みそさざいはとても喜ぶやまがらを見てどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>3 自己を見つめ、振り返る。</p> <p>○これまで友達と仲良くするために大事にしたことは何ですか。また、そのときどんな気持ちになりましたか。</p> <p>4 ICT を使い、友達の考えを知る。</p>	<p>・ごめんね、まっててね。</p> <p>・急がなきゃ。</p> <p>・やっぱり来てよかった。</p> <p>・やまがらさん嬉しそう。</p> <p>・自分もうれしい。</p> <p>・困っているときは助ける。喜んでくれていてうれしい気持ちになった。</p> <p>・友達に嫌なことをしない。仲良くできてうれしかった。</p> <p>・タブレットのオクリンクプラスを使い、友達の振り返りを見る。</p>	<p>・やまがらのことを思い、急ぐみそさざいを全体で動作化し、考える。</p> <p>・涙を浮かべて喜ぶやまがらを見た時の「みそさざい」に共感し、清々しさや嬉しさを感じ、友達の気持ちを思う大切さを考えられるようにする。</p> <p>☆友達の気持ちを尊重し、仲良く続けるために大切なことを自己とのかかわりで記述している。(ワークシート)</p> <p>・ICT を使い、他者理解を深められるようにする。</p>
終末 (5)	5 教師の説話を聞く。		<p>・友達を思う気持ちに関わって、児童の心が温かくなるような教師の体験を話す。</p>

5 他の教育活動との関連

学校生活の中で、友達の気持ちを尊重して行動している場面を見取り、継続できるように声掛けをする。

6 評価の視点

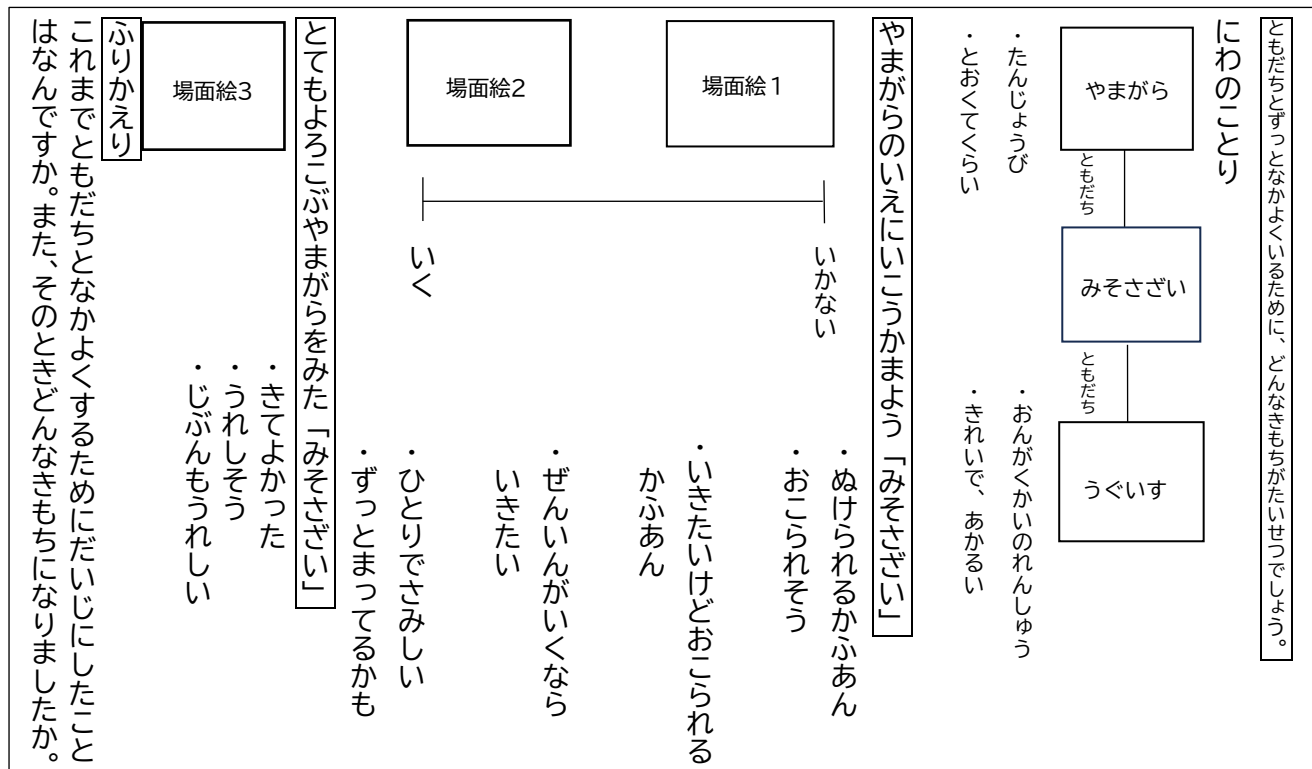
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・友達と仲良くし続けるにはどんな気持ちを大切にしていけばいいか、多面的・多角的に考え、話し合っている。(発言)

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・友達の気持ちを尊重し、仲良くし続けたいという思いを、自己との関わりで記述している。(ワークシート)

7 板書計画



〈ワークシート〉

にわのことり

なまえ ()

ともだちとずっとなかよくするためにどんなきもちがたいせつでしょう。

◎まよっているみそさざいはやまがらのいえにいったとおもいますか。

やまがらのいえに ()

(りゅう)

○これまでのともだちとなかよくするためにだいじにしたことはなんですか。また、そのときどんなきもちになりましたか。

○きょうのじゆぎょうのふりかえり (◎ ○ △)

ともだちのいけんを	しることができた。	
じぶんのかんがえを	ともだちに	つたえることができた。
これまでともだちとなかよくすることについて	かんがえることができた。	